

一般社団法人 学修評価・教育開発協議会
2018年度 事業計画

1. 企画調整委員会関連

○ 国内留学の実施に向けての調整

加盟校間の学生交流を推進し、地域を超えた連携によって学生の学びがより深いものになるよう、学生の受け入れと他大学への派遣を行うため、国内留学の検討を昨年に引き続き継続して行う。

2018年度後期に学生募集をし、2019年4月からの実施を目標として検討を進める。

【目的】

加盟大学の学生が国内留学に参加することにより、①他地域の文化理解、②受入大学で実施される特色ある教育プログラムの受講、③他大学の学生との交流による新たな学び(HIP)や多様性理解、④Iターンなどの就職活動などのメリットがある。また、派遣学生を受け入れる大学にとっては、他大学学生による教育プログラムの評価や改革総合支援事業の実績となる。

【今後の検討事項】

- ・受入れ学部学科および履修できる科目の選定等、諸条件の調整
- ・派遣、受入れ人数と受入れ可能時期
- ・学生の滞在に利用可能な宿舍の有無と、その費用

○ 単位互換 短期プログラム

昨年度に続き関西国際大学での以下の2プログラムの会員校学生への開放を行う。

- ・関西国際大大学「防災士養成講座」・「多国籍学生受入プログラム」

また富山国際大から以下のプログラム開放の提案があり、2018年度末の実施に向けて検討を進める。

- ・富山国際大学「国際交流実習タイ」

○ オフキャンパス報告会の実施

【趣旨】

HIPの一環としてインターンシップやスタディアブロードなどの教室外体験学習プログラムを経験した学生の代表団体による報告会を実施する。相互に自分の経験や学びを発表することにより、より学びを深めることが期待できる。

【概要】

- ・2018年度は「グローバル」をテーマに実施し、可能であれば毎年度テーマを変えて継続実施。

- ・コンテスト形式で表彰することも検討
- ・実施時期：2019年1月下旬
- ・実施方法：幹事校を中心としたワーキンググループを組織。報告会に関しては、遠隔会議システムを用いて行うが、参加校の意向により集合も可（その際の費用は参加校負担）。

2. 入試開発委員会関連

○ 言語運用力と数理分析力に関するテスト開発

2017年度は小規模なパイロットスタディまで実施。2018年度はその結果を評価して、改善するとともに、新たな問題の作成に広げていく。

2017年度作成版は2018年度に実施する関西国際大学での入試で使用。

○ 評価ルーブリックについての現状整理

各加盟校で実施している入試について、評価ルーブリックの導入について現状と課題を整理する。

3. IR 研究委員会関連

○ テスト・調査の共通実施・開発と IR

- (1) 学修行動調査の共通実施
- (2) 言語的思考力に関するテストの共通実施
- (3) (1)(2)の共通分析の促進
- (4) 卒業後調査の検討
- (5) 大学教育学会での発表
「アセスメントポリシーと IR」に関するラウンドテーブルを企画

4. 教育プログラム開発委員会関係

○ 新しい教育プログラムの開発

産業界からのニーズ等を踏まえたプログラムを開発する。